



愛知県政記者クラブ
 名古屋市政記者クラブ
 岡崎市政記者会 岡崎新聞記者会
 中部芸術文化記者クラブ 同時発表

平成 26 年 2 月 20 日(木)
 愛知県県民生活部文化芸術課
 国際芸術祭推進室調整グループ
 担当：芦沢、菊池、永田
 電話：052-971-6111 (内線 724-690/724-694)

あいちトリエンナーレ 2013 の結果概要について

あいちトリエンナーレ 2013 の開催結果の概要について取りまとめましたので、お知らせします。

総来場者は、626,842 人と前回（2010）の 572,023 人を約 5 万 4 千人上回りました。アンケート調査では、全体的な感想として、一般来場者の 84.8% が「良かった」と回答し、84.1% が「次回のトリエンナーレにも行く」と回答しています。

また、あいちトリエンナーレ 2013 の経済波及効果は推計で約 6.9 億円、パブリシティ効果（広告費換算）は推計で 5.5 億円以上と算出しましたので、併せてお知らせします。

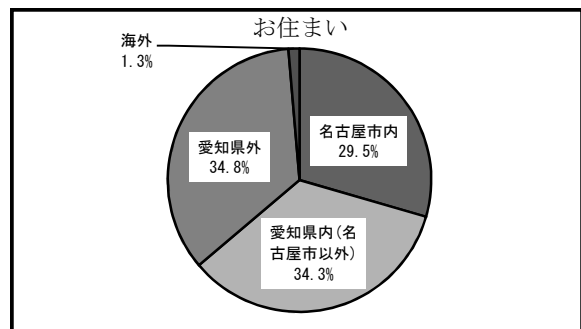
今後は、3 月下旬を目途に、専門家の意見も盛り込んだ、より詳細な開催報告書を作成する予定です。

1 来場者数等（別添資料 5～8 ページ）

最終来場者数は約 62 万 6 千人となり、前回（2010 年）の約 57 万 2 千人を約 5 万 4 千人上回った。岡崎会場を新たに設けたことや、県内外のメディアで数多く取り上げられたこと、来場者による口コミなどが大きく影響したと考えられる。

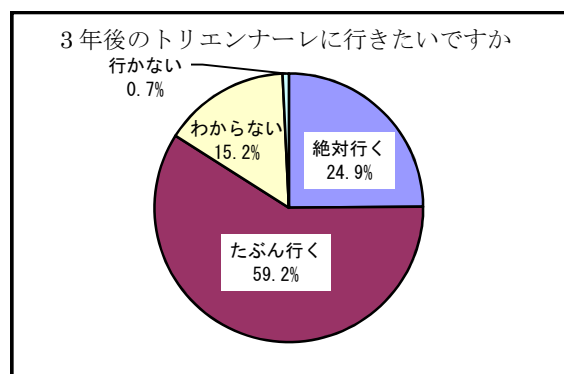
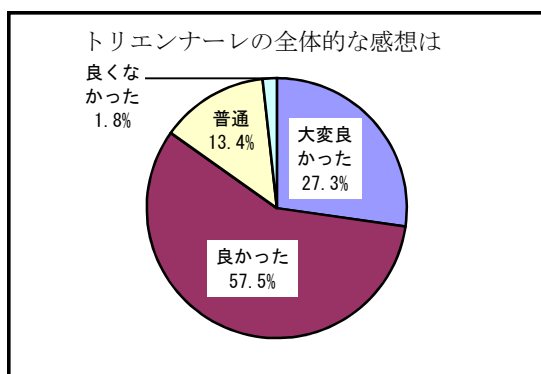
来場者の地域別割合は、名古屋市内 29.5%、名古屋市以外の県内 34.3%、県外 34.8%、海外 1.3% であり、県内外から幅広く来場した。

国際美術展及びキッズトリエンナーレでは、中学生以下の割合が 11.7% と高かった。



2 来場者の反応（別添資料 9～11 ページ）

アンケートによれば、一般来場者の 84.8% が「良かった」と回答し、84.1% が「次回のトリエンナーレにも行く」と回答している。

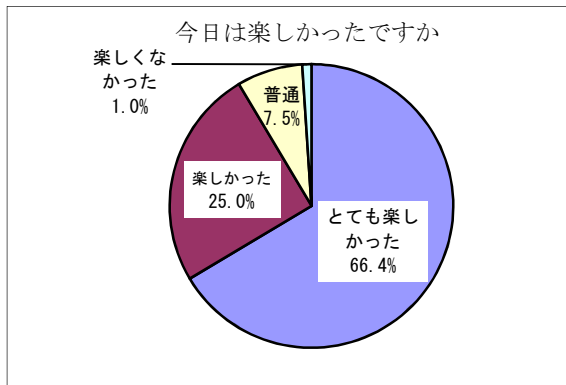


3 普及・教育（別添資料12～13ページ）

あいちトリエンナーレの特色であるキッズトリエンナーレには、子どもだけでなく大人の参加も含め60,803人の来場があり、参加した子どもたち（小中学生）の91.4%が「楽しかった」と回答している。

また、学校向け団体鑑賞プログラム※にも130校、5,089人の参加があった。

※学校向け団体鑑賞プログラム：授業、校外学習など様々な学校行事を活用して、児童・生徒に世界最先端の現代美術に触れてもらうためのプログラム



4 モバイル・トリエンナーレ（移動型展示）

会期中の週末を中心に、参加アーティスト17名の作品47点を県内4か所の文化施設等において巡回展示したところ、7,316人の来場があった。

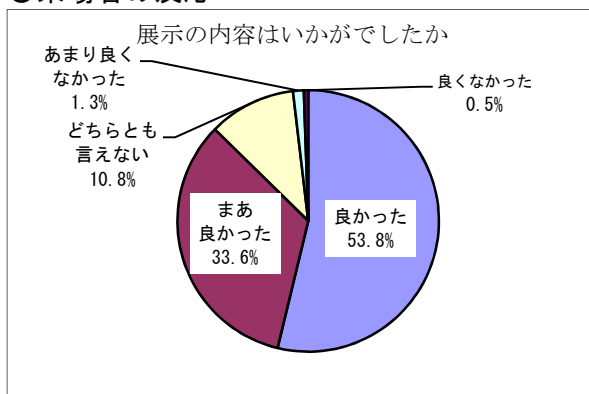
アンケートによれば、来場者の87.4%が「良かった」と回答している。

○開催地、日程及び来場者数※

| 開催市町 | 会場 | 日程 | 来場者数※ |
|------|-----------------|-------------------|--------|
| 豊橋市 | 穂の国とよはし芸術劇場プラット | 8月23日(金)～25日(日) | 2,232人 |
| 知多市 | 知多市歴史民俗博物館 | 9月13日(金)～16日(月・祝) | 1,132人 |
| 春日井市 | 文化フォーラム春日井 | 9月20日(金)～23日(月・祝) | 3,580人 |
| 東栄町 | 旧東部小学校 | 9月27日(金)～29日(日) | 372人 |
| 計 | | | 7,316人 |

※来場者数には、ワークショップの参加者を含む。

○来場者の反応



アンケート回答数 342

5 地元芸術大学との連携

愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学と連携し、「大学連携プロジェクト」として、長者町会場にある「アートラボあいち」2、3階で展覧会を実施した。3つの大学を横断して、在校生、卒業生を中心とした作品を展示し、36,126人の来場があった。また、愛知芸術文化センターで3つの芸術大学による座学、体験講座を計9回実施し、151人が参加した。

○アートラボあいちでの展覧会

| 展覧会名 | 日 程 | 来場者数 |
|--------------------------|-----------------|----------|
| Draw the World—世界を描く | 8月9日(金)～9月1日(日) | 7,826人 |
| 造形プロセッシング | 9月7日(土)～29日(日) | 13,096人 |
| Primordial Essence—根源と本質 | 10月4日(金)～27日(日) | 15,204人 |
| 計 | | 36,126人* |

※長者町会場の来場者数を含む

6 地域との連携、県民参加

祝祭ウィーク(9月30日～10月6日)における地元文化芸術団体等との共催による公演には、約1万2千人の来場者があった。

また、パートナーシップ事業への参加が364件あり、ボランティアへの登録者が1千3百人を超えるなど、多くの県民参加があった。

| | | |
|-------------------|-------|---------|
| 祝祭ウィーク事業 | 参加団体等 | 14団体・個人 |
| | 来場者 | 12,050人 |
| パートナーシップ事業(広報協力等) | 参加事業 | 364事業 |
| ボランティア登録者 | | 1,310人 |

7 チケット販売状況

国際美術展入場券販売枚数は約13万4千枚、パフォーミングアーツ及びオペラの入場券販売枚数は約8千6百枚であった。

| 項 目 | 販売枚数 | 収入額 |
|-------|----------|-----------|
| 国際美術展 | 134,439枚 | 166,744千円 |
| 舞台芸術 | 8,644枚 | 57,222千円 |
| 計 | 143,083枚 | 223,966千円 |

8 経済波及効果

(1) 推計金額

あいちトリエンナーレ2013の開催により、全体で約69億円、愛知県内で約58.2億円の経済波及効果があったと考えられる。

| | 合 計 (①+②+③) | 内 訳 | | |
|------|----------------|----------|----------|----------|
| | | ①主催者等総支出 | ②第1次波及効果 | ③第2次波及効果 |
| 全 体 | 69.0億円 | 13.5億円 | 47.5億円 | 8.0億円 |
| 愛知県内 | 58.2億円 | 12.5億円 | 39.1億円 | 6.6億円 |

《推計方法》

- ①主催者等総支出：あいちトリエンナーレ実行委員会の平成23年度から平成25年度までの総支出と、愛知県の緊急雇用創出事業基金事業による関連事業支出との合計額
- ②第1次波及効果：主催者等総支出及び来場者支出(飲食、買い物、交通費、宿泊費)による需要発生が、その他産業にもたらす生産誘発額
- ③第2次波及効果：先の需要の発生により雇用者の所得が生まれるが、その雇用者が消費したことによる生産誘発額

※波及効果の算出には、平成17年愛知県産業連関表を用いた。

(2) 主な前提条件等

来場者支出は、会期中に実施した来場者アンケート等を元に、以下のとおり推計。
想定実来場者数・総来場者数 62.6 万人 (626,842 人) を、平均来訪回数 (2.810 回) によって除し、約 22 万人 (223,076 人) と想定。
消費金額等・下表のとおり。

| 項目 | 金額 | 1人当たり平均 |
|-----|---------|---------|
| 飲食 | 3.5 億円 | 1,578 円 |
| 買い物 | 5.8 億円 | 2,595 円 |
| 交通費 | 14.3 億円 | 6,424 円 |
| 宿泊費 | 4.9 億円 | 8,081 円 |
| 計 | 28.5 億円 | |

※宿泊費については、アンケート結果から来場者の約 27% が宿泊者と推計した。

(3) 算出元

株式会社日建設計総合研究所

9 パブリシティ効果

(1) 推計金額

あいちトリエンナーレ 2013 のメディア報道におけるパブリシティ効果 (広告費換算額) は、55 億円以上と考えられる。

| メディア種別 | 掲載(放映)件数 | 合計金額 |
|--------|----------|-----------|
| 新聞 | 731 件 | 1,519 百万円 |
| テレビ | 134 件 | 3,744 百万円 |
| ラジオ | 61 件 | 70 百万円 |
| 雑誌 | 286 件 | 171 百万円 |
| 計 | 1,212 件 | 5,504 百万円 |

※新聞については、平成 23 年 7 月から平成 25 年 12 月までの件数

※テレビについては、平成 24 年 7 月から平成 25 年 11 月までの件数

※ラジオについては、平成 24 年 6 月から平成 25 年 10 月までの件数

※雑誌については、平成 23 年 8 月から平成 26 年 1 月までの件数

《推計方法》

○各メディアへの掲載 (放映) と同じ分量を広告出稿した場合の料金を 1 件ごとに算出し、その合計をメディア別のパブリシティ効果の金額とした。

・新聞・雑誌のパブリシティ効果 = 原単位価格 × 記事面積

・テレビ・ラジオのパブリシティ効果 = 原単位価格 × 放送時間

○掲載 (放映) の確認ができた記事 (放送) のみを対象として試算しているため、実際には 55 億円以上の効果があったものと考えられる。

(2) 算出元

株式会社NHKプラネット 中部支社

【あいちトリエンナーレ 2013】

- ・ 会期：平成 25 年 8 月 10 日～10 月 27 日 (79 日間)
- ・ テーマ：揺れる大地－われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活
- ・ 芸術監督：五十嵐太郎 (東北大学大学院工学研究科教授 (都市・建築学))
- ・ 会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場、東岡崎駅会場、康生会場、松本町会場など
- ・ 国際美術展、パフォーミングアーツなどに 34 の国と地域から 122 組のアーティストが参加